

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和5年5月】

■調査概要（データ対象期間：令和5年5月1日～5月31日）

○調査期間：令和5年5月31日～令和5年6月21日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業19企業、製造業18企業、卸売業10企業、小売業23企業

飲食業13企業、サービス業37企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計120企業>

○調査項目：5月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準と

して、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下

向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示す

ものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DIはプラス幅が縮小し、水準DIはマイナス幅が拡大した

1. 業況判断

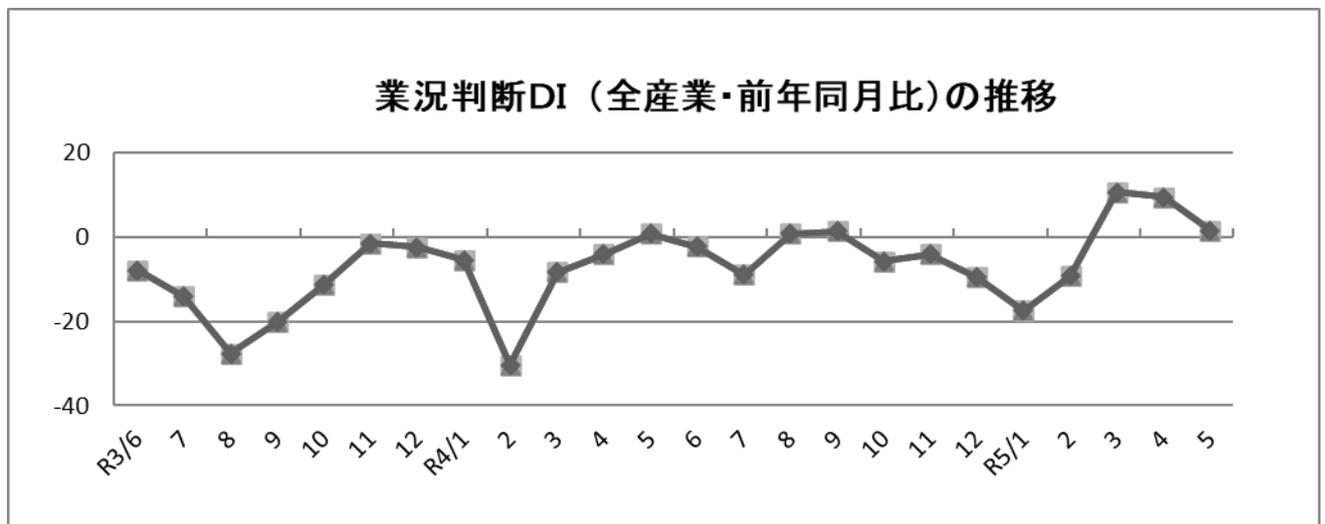
- 全産業合計の業況DI(前年同月比ベース)は、前月(9.5)より7.9ポイント下降し、1.6となった。業種別では、飲食業、小売業はプラス幅が拡大し、サービス業はプラス幅が縮小した。製造業はプラスからマイナスへ転じ、建設業はマイナス幅が縮小した。卸売業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月(▲6.9)より6.5ポイント下降し、▲13.4になった。業種別では、飲食業はプラス幅が縮小し、サービス業はプラスからマイナスに転じた。小売業はマイナスからプラスに転じ、製造業はマイナスから0になった。建設業はマイナス幅が縮小し、卸売業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	23.3 (25.9)	55.0 (57.7)	21.7 (16.4)	↓ 1.6 (9.5)	15.8 (17.2)	55.0 (58.7)	29.2 (24.1)	↓ ▲13.4 (▲6.9)
建設業	0.0 (0.0)	68.4 (64.7)	31.6 (35.3)	↗ ▲31.6 (▲35.3)	0.0 (0.0)	73.7 (64.7)	26.3 (35.3)	↗ ▲26.3 (▲35.3)
製造業	16.7 (20.0)	50.0 (70.0)	33.3 (10.0)	↓ ▲16.6 (10.0)	5.6 (20.0)	55.5 (60.0)	38.9 (20.0)	↓ ▲33.3 (0.0)
卸売業	20.0 (25.0)	40.0 (37.5)	40.0 (37.5)	↓ ▲20.0 (▲12.5)	20.0 (12.5)	30.0 (62.5)	50.0 (25.0)	↓ ▲30.0 (▲12.5)
小売業	34.8 (23.8)	56.5 (66.7)	8.7 (9.5)	↗ 26.1 (14.3)	26.1 (9.5)	52.2 (57.2)	21.7 (33.3)	↗ 4.4 (▲23.8)
飲食業	46.2 (50.0)	38.4 (16.7)	15.4 (33.3)	↗ 30.8 (16.7)	38.5 (41.7)	30.7 (25.0)	30.8 (33.3)	↓ 7.7 (8.4)
サービス業	24.3 (34.2)	59.5 (60.5)	16.2 (5.3)	↓ 8.1 (28.9)	13.5 (21.1)	62.2 (65.7)	24.3 (13.2)	↓ ▲10.8 (7.9)

()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」…前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」…事業主の方の主観による回答の集計



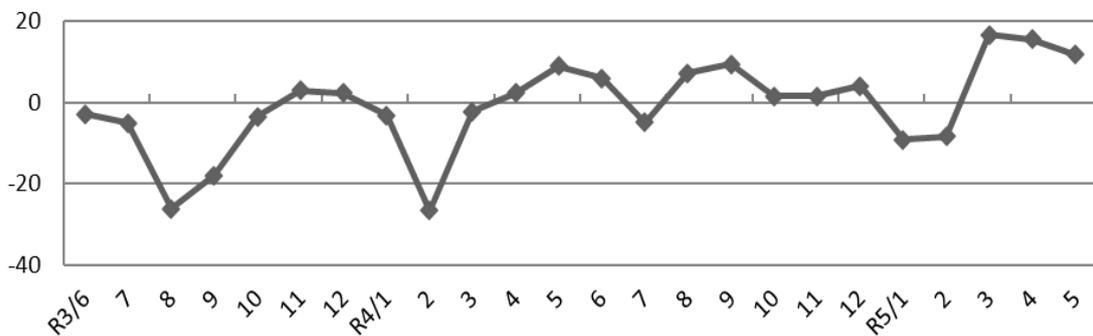
2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月(15.5)より3.8ポイント下降して、11.7となった。業種別に見ると、飲食業、小売業はプラス幅が拡大し、サービス業、製造業はプラス幅が縮小した。卸売業はマイナスから0に転じ、建設業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	R4年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月
全体	9.0	6.0	▲4.9	7.2	9.4	1.6	1.6	4.0	▲9.2	▲8.4	16.6	15.5	11.7
建設業	▲19.1	▲21.0	▲36.8	▲10.5	▲10.5	▲20.0	5.0	▲25.0	▲15.8	▲27.7	▲10.6	▲29.4	▲31.5
製造業	▲10.0	5.5	▲12.5	5.9	15.8	0	▲5.0	11.1	▲5.5	▲11.7	5.0	30.0	5.5
卸売業	23.1	25.0	0	33.4	58.3	9.1	27.3	16.7	22.2	0	33.3	▲12.5	0
小売業	26.1	▲3.9	0	▲9.5	4.2	4.8	4.8	4.2	▲39.2	▲13.6	39.2	4.8	30.4
飲食業	7.2	11.8	5.9	33.4	20.0	30.8	▲6.6	7.2	23.1	▲23.1	33.4	25.0	53.8
サービス業	19.0	17.0	4.8	7.5	0	0	▲2.7	10.5	▲7.9	8.3	15.0	36.9	13.5

売上高DI（全産業・前年同月比）の推移



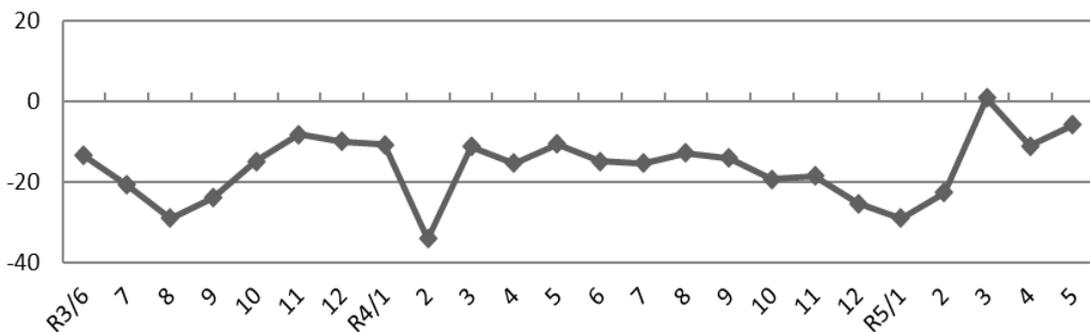
3. 営業利益DI（前年同月比）

○全産業合計の営業利益DIは、前月(▲11.2)より5.3ポイント上昇して、▲5.9となった。業種別に見ると、サービス業はプラス幅が縮小し、小売業はマイナスからプラスに転じた。飲食業はマイナスから0に転じ、建設業、製造業、卸売業はマイナス幅が拡大した。

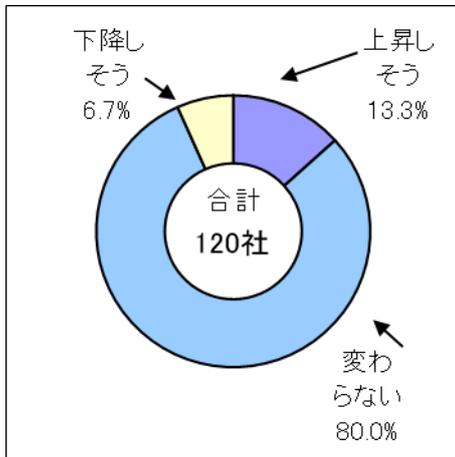
【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	R4年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月
全体	▲10.6	▲15.0	▲15.4	▲12.9	▲14.1	▲19.4	▲18.5	▲25.4	▲29.1	▲22.7	0.8	▲11.2	▲5.9
建設業	▲38.1	▲36.8	▲31.6	▲21.0	▲26.3	▲15.0	▲10.0	▲45.0	▲21.1	▲33.3	▲15.8	▲35.3	▲36.8
製造業	▲50.0	▲27.8	▲25.0	▲23.6	▲36.8	▲36.9	▲35.0	▲61.1	▲50.0	▲35.3	▲10.0	▲10.0	▲16.7
卸売業	15.4	▲8.3	▲9.1	25.0	25.0	▲18.2	▲18.2	▲25.0	▲11.1	▲23.1	11.1	▲25.0	▲40.0
小売業	8.7	▲23.1	▲27.8	▲42.9	▲4.2	▲28.6	▲9.6	▲12.5	▲52.2	▲13.7	17.4	▲23.8	26.1
飲食業	▲21.5	▲11.8	▲11.8	▲13.3	▲33.3	▲30.8	▲26.7	▲28.6	▲30.8	▲38.4	▲22.2	▲16.7	0
サービス業	7.1	2.4	▲2.4	0	▲7.7	▲5.0	▲16.2	▲5.2	▲13.2	▲11.1	7.5	10.5	2.7

営業利益DI（全産業・前年同月比）の推移

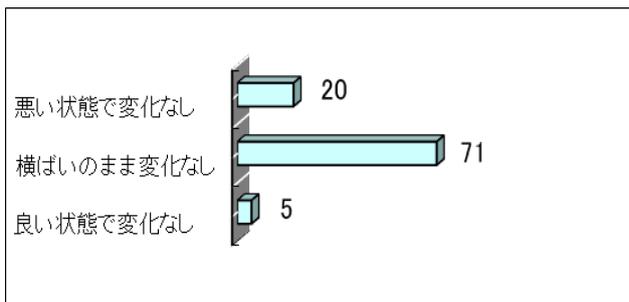


◇ 向こう3カ月の見通し ◇



○令和5年6月～令和5年8月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ0.4ポイント増え13.3%、「下降しそう」が0.2ポイント減り6.7%となった。業種別の見通しDIは建設業(5.3)、製造業(5.5)、卸売業(▲10.0)、小売業(0)、飲食業(23.1)、サービス業(10.8)であった。

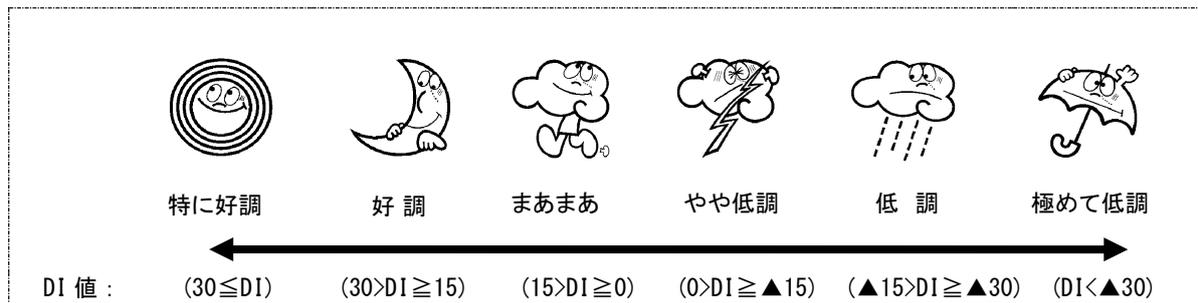
➡「上昇しそう」では「新年度工事が発注になるため」(建設業)「部品の入荷状況が改善したため」(製造業)「コロナ禍の落ち着きとともに観光客の来訪に加えアルコール需要のお客様動向も上向きに推移しているため」「新型コロナウイルス感染症の影響が減って、観光客が増え、ゴールデンウィークも人出が多くなり外国人観光客も来店するようになったため」「宴会の予約が入っているため」「新型コロナウイルス感染症規制の緩和のため」(飲食業)「コロナ禍があけて観光需要が戻ってきているため」「職業訓練受講者数が昨年に比べ増加しているため」(サービス業)といった声が寄せられた。また、「新型コロナウイルス感染症の第5類移行に伴う人的対流の増加」(卸売業)(小売業)(飲食業)、「予約状況の増加」(サービス業)、といった声が多く寄せられていた。



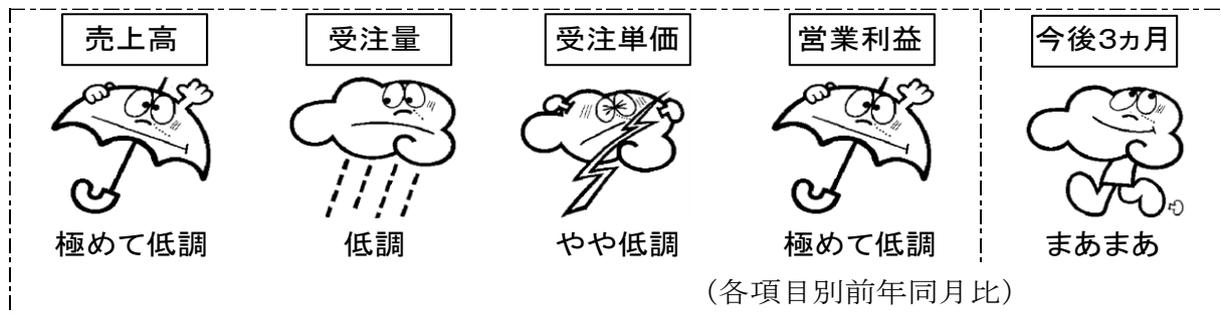
➡「下降しそう」では「現段階での受注状況が下降しているため」(製造業)「新型コロナウイルス感染症が落ち着き、関連商品の売上が下がってきたため」「生活用品全般の値上げが続いており、購買意欲が落ちていると感じるため」(卸売業)「夏は毎年売上が下がるため」(小売業)「ゴールデンウィークとクラフトフェアが終了したため」(飲食業)「インバウンド客の減少のため」(サービス業)といった声が寄せられた。

業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	R4年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	▲ 19.1	▲ 21.0	▲ 36.8	▲ 10.5	▲ 10.5	▲ 20.0	5.0	▲ 25.0	▲ 15.8	▲ 27.7	▲ 10.6	▲ 29.4	▲ 31.5
受注量	▲ 23.8	▲ 15.8	▲ 31.6	▲ 5.3	▲ 15.8	10.0	0	▲ 30.0	▲ 21.0	▲ 27.8	▲ 21.0	▲ 23.5	▲ 21.1
受注単価	▲ 4.7	5.3	▲ 10.5	▲ 5.3	▲ 5.2	▲ 15.0	0	▲ 5.0	▲ 5.3	▲ 16.7	▲ 5.2	0	▲ 10.5
営業利益	▲ 38.1	▲ 36.8	▲ 31.6	▲ 21.0	▲ 26.3	▲ 15.0	▲ 10.0	▲ 45.0	▲ 21.1	▲ 33.3	▲ 15.8	▲ 35.3	▲ 36.8
見通し	▲ 4.7	10.5	0	0	0	0	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 5.2	▲ 5.5	0	5.9	5.3

<経営者の目・見方・e t c >

建設業

・公共工事の発注量が少なく感じる。資材単価の上昇分を価格転嫁できない部分があり、利益が出づらくなっている。

土木工事

・建設業、建設関連産業共に低調に推移している。自助努力も当然のことながら正常な業績確保を切望する。

鉄工

・色々な総会のシーズンだがどの会議においても人手不足が話題になる。これからますますその傾向は強くなると思われる。

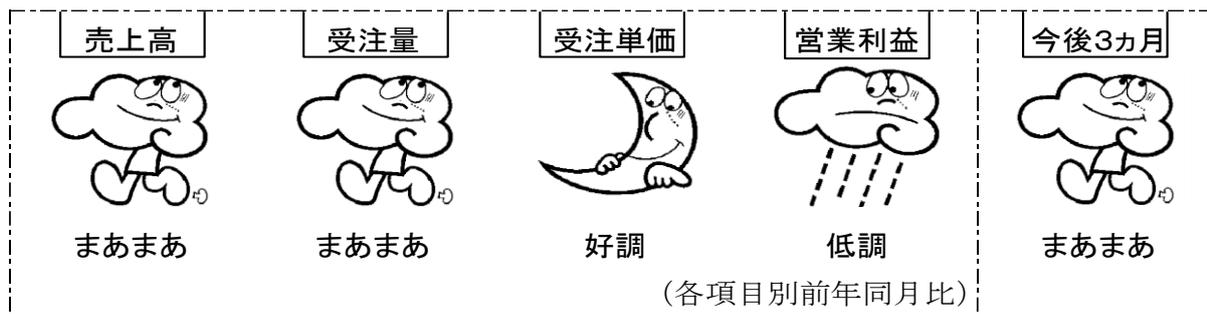
・鉄構組合関連の総会は対面にて開催された。人手不足、エネルギー価格高騰など、懸案事項は多岐にわたる。

・鋼材は高止まり、さらに上がっている。

電気工事

・各会社、仕事は欲しいがやる人がいないと最近耳にする。この先若い戦力がいないと困る時が来る。いかにそこを乗り越えるべきか考える時である。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

	R4年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	▲ 10.0	5.5	▲ 12.5	5.9	15.8	0	▲ 5.0	11.1	▲ 5.5	▲ 11.7	5.0	30.0	5.5
受注量	10.0	11.1	▲ 25.0	▲ 11.7	15.8	▲ 15.8	▲ 5.0	▲ 16.6	▲ 27.8	▲ 11.7	▲ 5.0	5.0	5.6
受注単価	5.0	16.7	6.2	11.7	15.8	21.1	20.0	11.1	16.6	23.5	10.0	25.0	16.6
営業利益	▲ 50.0	▲ 27.8	▲ 25.0	▲ 23.6	▲ 36.8	▲ 36.9	▲ 35.0	▲ 61.1	▲ 50.0	▲ 35.3	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 16.7
見通し	▲ 5.0	5.5	▲ 12.5	5.8	0	0	▲ 5.0	▲ 27.7	22.2	0	▲ 25.0	▲ 15.0	5.5

<経営者の目・見方・etc>

- | | |
|--|--|
| <p>精密機器組立</p> <p>小型情報機器組立</p> <p>金属塗装</p> <p>食品・飲料</p> <p>民芸木工家具</p> <p>印刷</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・4月、5月は部材の入荷が悪く、おどり場的であったが、今後改善の動きがあるので期待したい。 ・電気料が心配である。 ・老朽化した設備の更新を行い、特別損失が大きく発生して損益はマイナスとなったが、営業利益段階までは良かった。 ・原材料費の値上げ要請は引き続き多い。 ・1月から3月の受注が悪く、4月、5月の売上に影響している。4月5月の受注は少し持ち直しているが心配である。 ・印刷物への価格転嫁に関して、BtoBについてはお互い理解を示し、受け入れてもらえている。一方で公立の学校関係や団体の価格転嫁は難航案件が生じている。 |
|--|--|

3. 卸売業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3ヵ月
				
まあまあ	やや低調	まあまあ	極めて低調	やや低調

(各項目別前年同月比)

【項目別DIの推移】

	R4年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	23.1	25.0	0	33.4	58.3	9.1	27.3	16.7	22.2	0	33.3	▲ 12.5	0
販売客数	7.7	16.7	▲ 27.3	16.7	25.0	9.1	▲ 9.1	0	0	▲ 7.7	11.1	▲ 25.0	▲ 10.0
販売客単価	38.5	41.7	9.1	41.7	50.0	36.4	18.2	8.4	22.2	0	33.3	0	10.0
営業利益	15.4	▲ 8.3	▲ 9.1	25.0	25.0	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 25.0	▲ 11.1	▲ 23.1	11.1	▲ 25.0	▲ 40.0
見通し	0	8.4	▲ 18.2	▲ 16.7	0	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 16.7	0	▲ 7.7	0	12.5	▲ 10.0

<経営者の目・見方・e t c>

土産品

・売上は好調に推移しているが、原材料の値上がりや、円安の影響による海外からの輸入品の大幅な値上がりが利益を押し下げている。観光地には外国人客が増えているが、土産品の購入意識は低い感じである。

魚介類

・観光関連の人の移動が始まった。次第に景気が上向くのではないか。

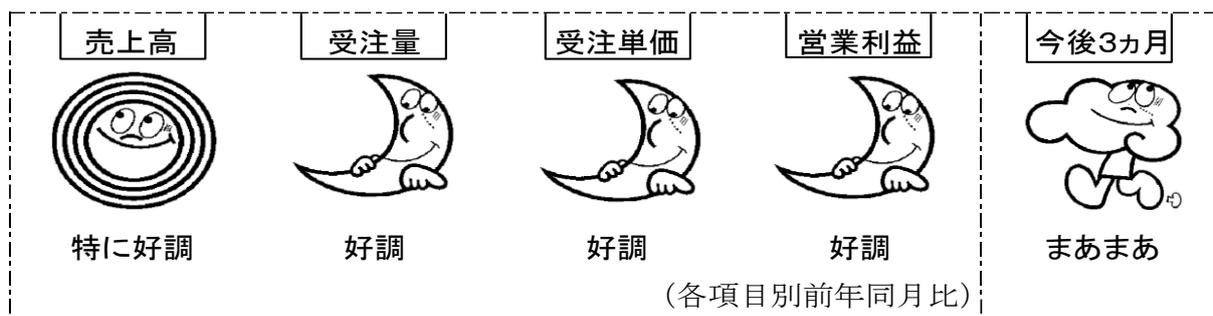
自転車

・自転車乗用時ヘルメット着用の努力義務が4月から始まっているが入荷が遅れている。また、松本市で子ども乗せ電動アシスト自転車に対する補助金が始まり期待している。

金属製品

・建築関連は物流倉庫や情報システム関連の大型物件が依然多い状態である。コロナ禍で延期や白紙となっていた案件が動き出すことに期待する。材料単価は横ばいで推移しているが、経費アップ分の価格転嫁については引き続きの課題となっている。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

	R4年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	26.1	▲ 3.9	0	▲ 9.5	4.2	4.8	4.8	4.2	▲ 39.2	▲ 13.6	39.2	4.8	30.4
販売客数	17.4	▲ 15.4	▲ 33.3	▲ 9.6	4.1	0	▲ 4.8	▲ 4.1	▲ 39.1	0	4.4	▲ 9.5	17.4
販売客単価	8.7	▲ 11.5	▲ 11.1	4.8	0	▲ 4.8	0	12.5	▲ 26.1	13.6	0	▲ 19.1	26.1
営業利益	8.7	▲ 23.1	▲ 27.8	▲ 42.9	▲ 4.2	▲ 28.6	▲ 9.6	▲ 12.5	▲ 52.2	▲ 13.7	17.4	▲ 23.8	26.1
見通し	8.7	▲ 11.5	▲ 27.7	▲ 9.5	▲ 4.2	▲ 4.7	9.5	▲ 16.6	▲ 8.7	0	17.4	▲ 4.8	0

<経営者の目・見方・e t c>

洋菓子店

・菓子業界は気候の上昇により売り上げが下がるが、昨年と比べると少しは明るいと思う。昨年の5月と比べるとゴールデンウィークは少し売上がアップした。

・新型コロナウイルス感染症が流行る前のゴールデンウィークに戻ったような気がする。母の日も例年以上だった。人の動きも活発になり、イベント依頼も増えてきている。

生鮮食品

・5月は連休、母の日と忙しかった。後半の土曜日、日曜日以外は普通だが、観光客、海外の方々がぞろぞろ歩いていた。

化粧品

・売場活動がコロナ禍によって制御せざるを得ない部分が多かったが、これから従来の活動に向けて進めていかなければならない。

印章

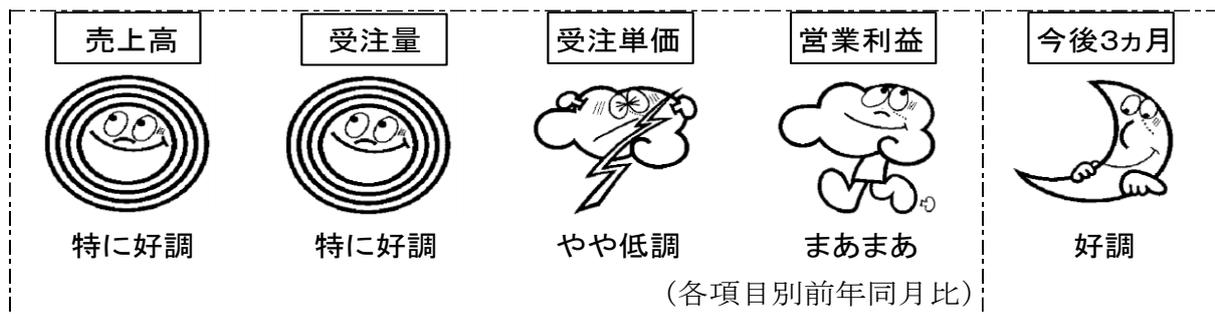
・大型連休の観光客、修学旅行、海外からの旅行者などがかなり戻ってきていると思う。キャッシュレス決済の内、PayPay使用率が以前より減ってきている。都市部の方は松本市内のバスでsuicaやPasmaが使えないことに不便さを感じているので、できれば早急な対応をお願いしたい。

印章・刃物研ぎ
ガラスサッシ

・業界各種の総会も順次終わりに近づき、全てが上昇することを願う。

・住宅省エネ2023キャンペーンも良いが、その影響で樹脂サッシの納期が3ヵ月以上かかってしまっている。高齢者住宅には早く付くと思うが、何とかならないか。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	R4年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	7.2	11.8	5.9	33.4	20.0	30.8	▲ 6.6	7.2	23.1	▲ 23.1	33.4	25.0	53.8
販売客数	0	11.8	11.8	20.0	13.3	23.1	0	▲ 7.1	23.1	▲ 23.1	55.6	25.0	38.4
販売客単価	0	▲ 5.9	▲ 11.7	6.7	▲ 6.7	7.7	13.3	▲ 28.6	7.7	▲ 15.4	0	0	▲ 7.7
営業利益	▲ 21.5	▲ 11.8	▲ 11.8	▲ 13.3	▲ 33.3	▲ 30.8	▲ 26.7	▲ 28.6	▲ 30.8	▲ 38.4	▲ 22.2	▲ 16.7	0
見通し	7.1	11.8	▲ 11.8	▲ 20.0	6.7	▲ 7.7	13.3	0	0	30.8	33.3	25.0	23.1

<経営者の目・見方・e t c>

食堂

- ・今年のゴールデンウィークは期待していたが、観光地、街中に集中したのか郊外はコロナ禍中より静かだった。県外ナンバーの車も去年より見掛けなかった。

料理

- ・新型コロナウイルス感染症規制が緩和されたので、連休の人出はコロナ禍以前の状態に戻ってきた。あがたの森のクラフトフェアは大盛況で、イオンモール周辺は大変混雑した。

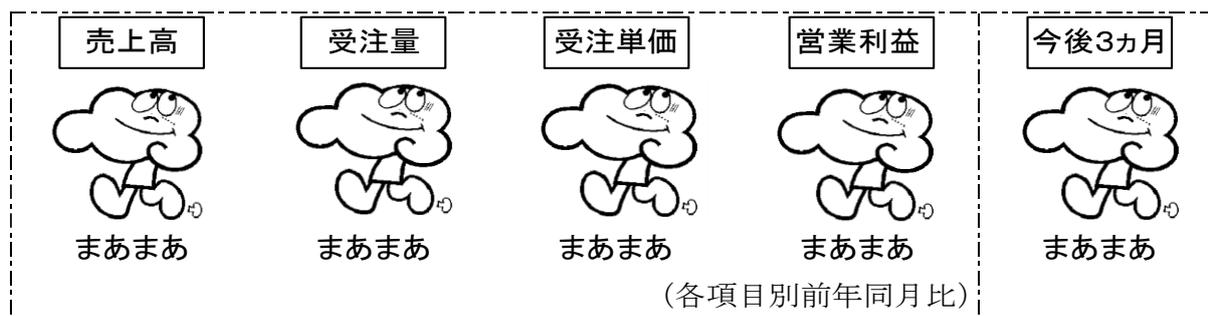
郷土料理

- ・家族のみで営業をしているため連休をとっていた。また、月の中頃はお客様も休んでいるようで暇な月だった。
- ・接待等が少しずつ増えてきている。新しい店も増えているが、歩いている人は少なく、観光客は車で移動している。

寿司

- ・新型コロナウイルス感染症の影響は減り観光客が増えた。それに伴って従業員も増やしているので、人件費が増えて利益が下がっている。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染者数が報道されなくなった。世間が活気付いているのは非常に喜ばしいが感染者が全くなくなったわけではない。関心が薄れていく中、身を引き締めて対応しなくてはならない。
- ・観光地を中心に人出も戻りつつあるが、引き続き戻りが遅いのが団体客である。いつ従前の何割程度まで戻るのか、今後も注視したい。

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	R4年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	19.0	17.0	4.8	7.5	0	0	▲2.7	10.5	▲7.9	8.3	15.0	36.9	13.5
販売客数	11.9	7.4	2.4	7.5	▲2.6	7.5	5.4	▲5.2	▲7.9	8.3	2.5	28.9	8.1
販売客単価	0	7.3	▲2.4	2.5	5.1	7.5	10.8	5.2	13.2	11.1	10.0	23.7	10.8
営業利益	7.1	2.4	▲2.4	0	▲7.7	▲5.0	▲16.2	▲5.2	▲13.2	▲11.1	7.5	10.5	2.7
見通し	9.6	4.9	7.1	15.0	5.1	2.5	▲5.4	▲5.2	▲5.3	8.3	2.5	15.8	10.8

<経営者の目・見方・e t c >

観光旅館

- ・コロナ禍前の2019年より宿泊の売上は伸びた。ゴールデンウィーク後も戻ってきたインバウンドに支えられ忙しい毎日だった。しかし、相変わらずの人手不足により全館を開けることができず、また、外来食堂などの営業ができないのは残念である。何とか夏までに人手を揃えなければならない。

温泉旅館

- ・新型コロナウイルス感染症も落ち着き、家族旅行が多くなっているが、油断はできない。

旅館

- ・予約は増えているが相変わらずの人手不足で、予約を受けきれない。

宿泊

- ・新型コロナウイルス感染症の分類も影響してか、観光需要がますます高まった印象の5月だった。インバウンドもさらに増えていくことが予想されるので、対応が必要だと感じている。

ホテル

- ・コロナ禍の期間中に新しいホテルが建設され部屋数が大幅に増加した。旅行支援が6月で終了するため、通常の状態に戻った時が心配である。
- ・インバウンドの急激な回復を感じている。

タクシー

- ・月初めの連休の上高地は客数が多く忙しかった。観光客が段々増えてきそうである。

ホームクリーニング・

- ・光熱費が高止まりしている。価格転嫁がスムーズに行えず経営を圧迫している。

リネンサプライ業

- ・変動なし

不動産賃貸

- ・外国人観光客が増えた。イベントや会合等がコロナ禍前のように行われつつある。

写真

機械設計

- ・今月も大きな変動はないまま推移している。リモート会議は続いているが、外出での打ち合わせも行うようになった。

自動車整備・板金塗装

- ・ゴールデンウィークも終わり平常を取り戻しつつある。休み明けのためか仕事量が急に減ってきたようである。自動車の生産も少しずつ早くなってきたことが幸いである。

リラクゼーション

- ・物価高騰により経費がアップして苦しい。

